



共育 協創

長井市立豊田小学校
学校だより



令和7年12月19日 No.16

学習発表会 大成功！写真で紹介します

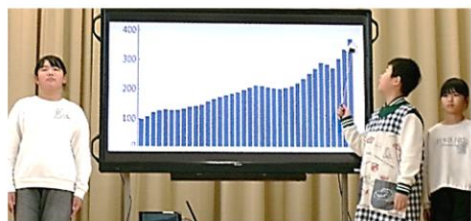


3年生創作劇『らしさ』って何？



開会の言葉

トップバッターは3年生。「『らしさ』って何？」エネルギッシュな3年生、一人ひとりの得意なことや頑張っていることを「自分らしさ」として堂々と発表しました。自慢の歌声も聞かせてくれました。続いて5年生。お米の値段が上がっていることやコメ不足の問題について、調べたり考えたことを発表しました。「インパウンド」「なり手不足」等、お米に限らず社会全体の課題にも重なる内容でした。博士が開発したAIロボットは、これからもしかすると農業の救世主になるかもしれません！



5年生総合「米不足の解決に向けて」



4年生 各教科「4年生の1日～5年生に向けて・・・」



続いて4年生。これまで学習してきたことを教科ごとに発表しました。落語「ぞろぞろ」から始まり、社会の都道府県の学習では、都道府県ギャルズが登場。リコーダーの演奏で合わせた音色に、4年生の心も重なって見えてくるようで、5年生への意気込みが伝わってきました。1年生は国語で学習した「大きなかぶ」に、自分たちで考えたセリフや歌を添えて、オリジナルの「大きなかぶ」を作って発表しました。たくさんの人を前に、笑顔で発表する姿、立派でした！



1年生劇「おおきなかぶ」



2年生はインフルエンザによる学年閉鎖で、1週間後に発表会をしました。さまざまな楽器を使って演奏したり、会場と一体になって歌を歌ったり、待っていた分、張り切って発表しました。2年生になって、音楽でこんなにたくさんの曲を学習したんだね。



5日（金）にはできなかった幻の「開会の言葉」が12日実現！



2年生音楽「ワールド・アニマル・ミュージック・ツアー」





6年生劇「何でも引き受け株式会社」



めんどくさいことは何でも引き受けてくれる「何でも引き受け株式会社」。「めんどくさいことやなくていい？」最初はそれでいいと思っていた子どもたちが気が付いたことは・・・時間をかけて努力すること。便利な世の中になっても、人が成長するためには欠かせないということ。6年生自身が、これまで、仲間とともに歩んできた自分たちの成長の道のりにも、「努力」があったことに気付き、その大切さを私たちに語り掛けてくれました。「本当の喜びは、そこにはないよ!」の名セリフが胸を打ちました!



閉会の言葉

今年は、インフルエンザの流行により、12月5日(金)と12日(金)の2回に分けた実施になりました。保護者、ご家族の皆様には、何度も学校に足を運んでいただきありがとうございました。

当日まで、実行委員を中心に、各学年のテーマを決めて練習に取り組んできました。どの学年も、テーマを決めるためにも時間をかけていたようです。「笑顔でそれぞれの個性を生かす」「クラス一丸となって」「みんなを楽しませよう」「わかりやすく伝えよう」等、どの学年のテーマにも「こんな発表にしたい!」という子どもたちの願いがぎゅっとつまっていました。

この日の4年生のある人の作文に、「休み時間もたくさん時間を使って、練習をたくさんしました。緊張したけれど、上手に(リコーダーを)ふけてうれしかったです。最高!!の学習発表会でした。」という文章がありました。そうです。子どもたちは、知恵を出し合い、アドバイスし合いながら、何度も何度も練習を重ねてきました。心合わせようと思っても、思うようにいかなかったり、失敗したりすることもあったかもしれません。しかし、そういう出来事は経験を鮮やかにしてくれるように思いますし、友達と一緒にだからこそ乗り越えられると思うのです。1週間後の2年生の子どもたちの発表でも、自分が、そして友達と発表を楽しむ姿が印象的でした。

一人ひとりのよさが光り、それぞれの学年のまとまりを発揮したみんなに大きな拍手を送ります!
学習発表会、大成功!!

パチパチパチ 一幕—

ネットトラブル防止教室

「なぜスマホが必要なの?」を考えてみる

15日(月)に、川西町Gazi工房の原さんにおいでいただき、4年生以上の子どもたちと、希望してくださった保護者の方とネットトラブルについての研修会を行いました。ご参加くださった保護者の方、ありがとうございました。

講師の原さんが「スマホなど、ネットをなぜ使うのかという目的がはっきりしているとトラブルに合いにくい」とおっしゃいました。スマホの所持は学年が上がるにつれて多くなり、約半数の子どもたちが持っていると答えていましたが、そのうち、「なんのためにスマホを使っているのか」という目的を家庭で確認している人はぐんと少なくなるようでした。



スマホ等を使う時に気をつけること

コミュニケーション

相手を理解し、ゆるす

モラル

何がよくて何が悪い
か考える

リテラシー

情報にまどわされない

講師の原さんの名言「デジタルの時代だからこそ、心の在り方が問われる!」

小学生は、まだまだコミュニケーション力が十分でないことやモラルやリテラシーについても勉強中の時期であることから、自分で判断できることばかりではありません。学校では、今後もより適切に判断できる力をつけられるよう、折に触れて指導してまいります。ぜひ、冬休みを前に、ご家庭でもネットトラブルについて話題にしてみてください。